

重ねる信頼、一步の勇氣



日本弁理士クラブ平成15年度幹事長

波多野 久

日本弁理士クラブ（以下、日弁と略す）会員の皆様、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

桜咲く4月に幹事長職に就き、早いもので6ヵ月余が過ぎました。我々を取巻く環境が激変しつつあることを肌で感じながら日々活動しています。激変の時代に勇氣をもって前進すべく、スローガンを作成しました。「重ねる信頼、一步の勇氣」であります。

日弁は、稲門弁理士クラブ、無名会、P A会、南甲弁理士クラブおよび春秋会の各会員で構成され、各会派に属する会員は自動的に日弁会員となる仕組みになっています。

日弁は、

1. 日本弁理士会の会務運営を責任を持ってバックアップかつサポートし、
2. 知的財産・弁理士制度・役員制度等に関する政策提言を行い、
3. 将来の日本弁理士会を担うリーダーを発掘・育成し、
4. 五会派相互の連係強化・融和を図り、
5. 未組織会員の組織化を推進し、
6. 若手弁理士の育成・戦力化のための研修の実施を図る、ことに努めて参ります。

知的財産制度は今、世界的な調和の流れの中にあり、知的財産をサポートする弁理士等の制度も国際的調和の流れが加速する動きであります。

そのような中で、弁理士法の一次および二次改正が行われ、共同的なものでありますが訴訟代理権を獲得し、来年早々にこの代理権を取得した弁理士が生まれます。弁理士制度の国際的調和の中では我々の資格に対する期待の表れであり、大きな意義をもつものであります。

新しい弁理士法は、我国の知的財産業務の中核を

我々弁理士が責任をもって務めるよう強く要請しています。この要請を真摯に受け止め、我々弁理士が知的財産の分野で重要な一翼を担っていかうではありませんか。

一方、弁理士法の改正に続き知的財産を国家戦略とする知的財産基本法も成立し、本年7月に具体的政策を盛り込んだ「推進計画」が纏まりました。この推進計画の担い手の中心は、我々弁理士であり、弁理士に対する期待の大きさは我々の想像を超えるものがあります。司法制度改革の流れの中では、知財高等裁判所の創設も視野に入っていました。

我国産業・経済界は、規制緩和と自由競争が進む中でデフレが進行し、生き残りをかけた激動の時代を迎えています。この中でも、新しい産業や経済に知財戦略を組み入れた新しいスキームが少しずつ見えつつあります。この新しい我国産業・経済の構築に我々弁理士も参画し、大いなる貢献をしようではありませんか。

日弁会員の皆様が、今後も我国産業・経済の発展に、重要な一翼を担われ、私共日弁、日本弁理士会、さらには知的財産分野で主導的な役割を果たされ、心豊かで創造性にあふれた未来社会の構築に向けてご尽力下さるよう切にお願い申し上げます。

日弁は設立当時の基本的理念に立ち返りつつ永年積み重ねた信頼と友情関係を再構築し、時代の変化に迅速かつ適格に対応する日弁の組織化を目指して前進していきたいと思っております。

最後に日弁へのご理解を会員の皆様にお願ひし、変わらぬご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の一層のご発展ご健勝をお祈り致します。